

ELSA グラフィックスボードマニュアル付録
Ver.2

**ELSA グラフィックスボードマニュアル付録
Ver.2**

はじめに

このたびは、ELSA 製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

この ELSA グラフィックスボード ユーザーズマニュアル付録は、ELSA グラフィックスボードを利用するために必要な情報を提供します。

対応製品名

ELSA GeForce シリーズ

ELSA GLADIAC シリーズ

ELSA AXERIZE シリーズ

NVIDIA Quadro シリーズ

NVIDIA Quadro FX シリーズ

NVIDIA NVS シリーズ

NVIDIA Quadro NVS シリーズ

詳細情報については、インターネットの <http://www.elsa-jp.co.jp/> をご覧ください。

ELSA グラフィックスボード ユーザーズマニュアルに関する質問や、テクニカルサポートを依頼したいときは、ELSA オンラインサービス (<http://www.elsa-jp.co.jp/>) が 24 時間アクセス可能ですのでご利用ください。

本マニュアルに記載されている情報は、細心の注意を以って編集してありますが、製品特性について保証するものではありません。エルザジャパンの販売と納品に関する範囲についてのみ責任を負うものとします。

本製品に付属する文章およびソフトウェアを複製、配布する場合、ならびにコンテンツを使用する場合は、エルザ ジャパンから書面による許可を受けなければなりません。

商標

- Microsoft、Windows、DirectX は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- OpenGL は Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。
- GeForce、Forceware、NVIDIA Quadro は NVIDIA corporation の登録商標です。

このマニュアルは予告なしに変更されることがあります。このマニュアル中の技術情報の間違いまたは遺漏については、一切責任を負いません。

本マニュアルは、Windows 8.1 及び 353.62 のグラフィックスボードドライバをベースに作成しております。

注意：ベータ版ドライバでは表記などが違う場合があります。

取り付ける前の注意事項



注意

本製品に付属している保証書や購入時のレシート、領収書等は大切に保管してください。
製品故障などで修理を行う場合に、保証書もしくは購入時のレシートを提示していただく必要がございます。



分解禁止

本製品の分解、改造、修理等をユーザー様自身で行わないでください。
グラフィックボードの FAN の交換、部品の改造、修理等の行為をお客様自身で行いますと、例えば保証期間内でも修理保証対象外となります。



禁止

濡れた手で本製品の設置や取り外しを行わないでください。
感電する可能性や部品の故障に繋がりますので、絶対にお止めください。



電源プラグを抜く

本製品を取り付けや取り外しを行う前に、必ず PC の電源プラグをコンセントから外してください。
電源プラグが接続されたまま取り付けや取り外しを行うと、不意の電源投入などが起き感電や故障の原因になります。



禁止

パソコンの電源を落とした直後は、内部の部品に触れないでください。
パソコン内部の部品は高温になる物が存在し、手を触れたりするとやけどをしたりするものがございます。10 分程度冷却後に取り付けや取り外しを行ってください。



禁止

グラフィックスボードの部品や動作中の FAN には触らないようにしてください。
ボード上の部品は精密な部品で構成されていますので直接手で触れないようお願いいたします。また、ボードが動作中に FAN などに手を触れると怪我をする可能性がございますのでお止めください。



強制

グラフィックスボードを取り付ける前に体内に蓄積された静電気を身近な金属部品やドアノブ等に逃がして接続を行ってください。
特に冬場など体内に静電気が蓄積されやすいので、作業前に静電気を抜いてから取り付けを行ってください。(静電防止手袋など使用するとベストです)



強制

ボードを取り付ける際には、念のためハードディスク内の必要なデータをバックアップしてください。
プログラムの組み合わせにより、Windows が正常に動作しなくなる場合もございますのでバックアップは必ず行ってください。バックアップの作成を怠った為にデータを消失、破損した場合には弊社ではその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

本製品を落としたり強い衝撃を与えないでください。
落下などによる部品の破損は修理保証対象外になりますのでご注意ください。



電源プラグを抜く

変な臭いや異常音の発生、煙が出るなどした場合、パソコンの電源を直ぐに切ってください。
そのまま使用すると、ショートして火災を起こしたり、パソコン本体に深刻なダメージを与える可能性がございます。



禁止

本製品を使用する際に、以下の場所では使用しないでください。
風呂場や水道の近く、結露しやすい場所、ほこりの多い場所、直射日光が当たる場所、常時振動が発生する場所。



強制

以前に使用していたボードなどを取り外す際には、パソコン内のホコリも掃除して新しいボードを取り付けてください。ホコリなどが内部に付着したまま使用すると故障の原因となります。



強制

FAN が取り付けられている製品は 1 ヶ月に 1 度程度、定期的に FAN の清掃を行ってください。
FAN にホコリが溜まると、FAN の回転数が落ちたり故障したりする原因になります。

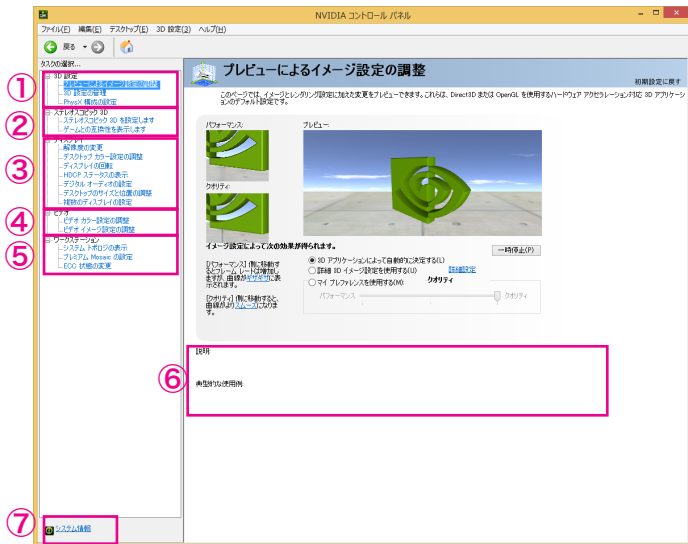
はじめに	
取り付ける前の注意事項	5
ELSA グラフィックスボードマニュアル付録	6
NVIDIA コントロールパネルの各項目と部分的詳細説明	9
1-1 NVIDIA コントロールパネル	10
1-2 3D 設定	11
1-2-1 プレビューによるイメージ設定の調整	11
1-2-2 3D 設定の管理	12
1-2-3 3D 設定の管理 / DSR(Dynamic Super Resolution)	13
1-3 SLI , Surround、PhysX の設定 (GeForce シリーズ)	14
1-3-1 PhysX 設定	14
1-3-2 Surround 設定	15
1-3-3 SLI 設定	18
1-4 SLI 構成と PhysX 構成の設定 (Quadro シリーズ)	20
1-4-1 SLI 設定	20
1-5 ステレオスコピック 3D 設定	22
1-5-1 ステレオスコピック 3D の設定 (DirectX アプリケーションで使用する場合)	22
1-5-2 3D Vision シリーズを OpenGL で使用する場合	25
1-6 複数のディスプレイの設定	26
1-7 ディスプレイポート / マルチストリームトランスポート	35
1-8 ダイレクト GPU レンダリング	37
1-9 Mosaic の設定 (Quadro シリーズのみ)	38
1-10 EDID 情報固定設定 (Quadro シリーズのみ)	45
エルザ ジャパン サポートセンターについて	47

NVIDIA コントロールパネルの各項目と部分的詳細説明



このコントロールパネルの説明は Windows 8.1 OS と GeForce の 353 ドライバをベースにしています。

1-1 NVIDIA コントロールパネル



- ① **3D 設定**
3D アプリケーションなどを使用した際の動作やパフォーマンスなどを設定します。
- ② **ステレオスコピクス 3D**
3D Vision シリーズを使用する場合に設定します。
- ③ **ディスプレイ**
ディスプレイの解像度や調整などを設定します。
- ④ **ビデオ**
ビデオ出力時のカラーなどの調整を設定します。
- ⑤ **ワークステーション**
Quadro シリーズのワークステーション関連の設定をします。
- ⑥ **説明**
説明を求める項目にカーソルを持って行くと詳しい説明が表示されます。
- ⑦ **システム情報**
使用中のグラフィックスの情報やシステム情報の保存が出来ます。(テキスト形式)

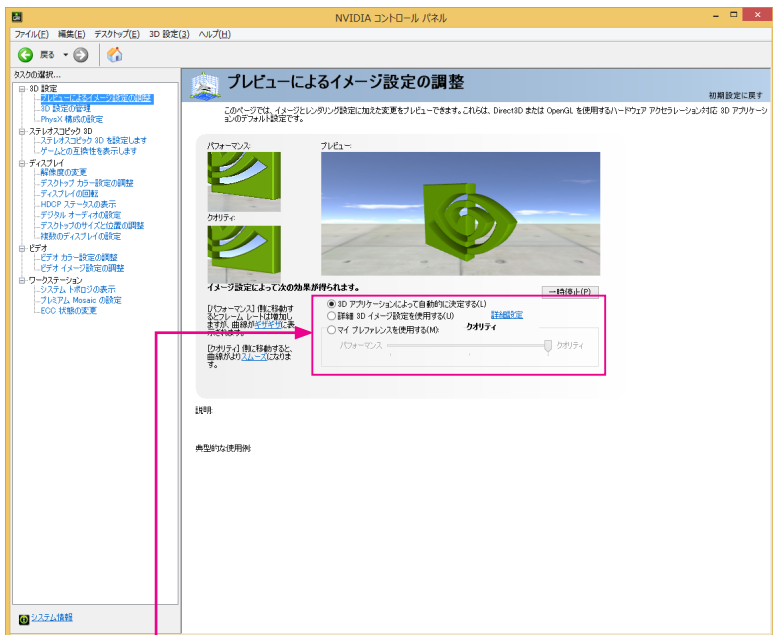


注意：ドライバのバージョンなどにより内容などが違う場合がありますのでご了承ください。

1-2 3D 設定

1-2-1 プレビューによるイメージ設定の調整

3D 画像を確認しながら、画質の設定を行うことが出来ます。



3D アプリケーションによって自動的に決定する

3D のゲームやアプリケーションにより自動的に最適な設定に調整します。

詳細 3D イメージ設定を使用する

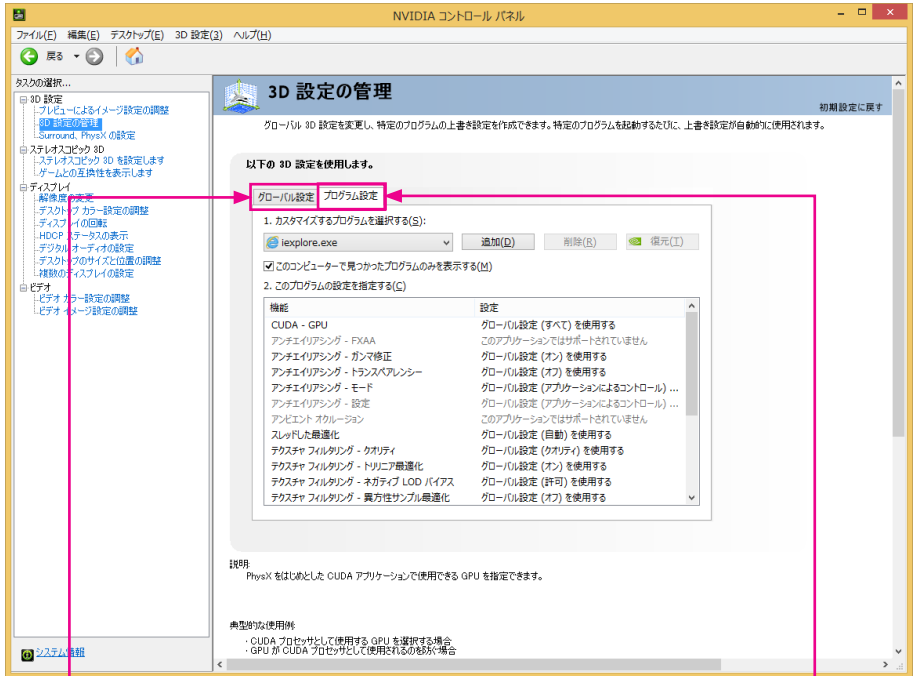
手動による詳細な 3D 設定が可能です。上級者向けの設定です。設定を行うには「詳細設定」をクリックし、「3D 設定の管理」にて詳細な設定が出来ます。

マイプレファレンスを使用する

パフォーマンスとクオリティの設定をスライダーにて手動で設定が可能です。パフォーマンス側に移動させると、3D の処理は速くなりますが、画質が低下します。クオリティ側に移動させると、3D の処理が遅くなりますが、画質は向上します。

1-2-2 3D 設定の管理

3D に関する詳細な設定を行うことができます。



グローバル設定

グローバル設定はすべての 3D アプリケーションに対して適用されます。

プログラム設定

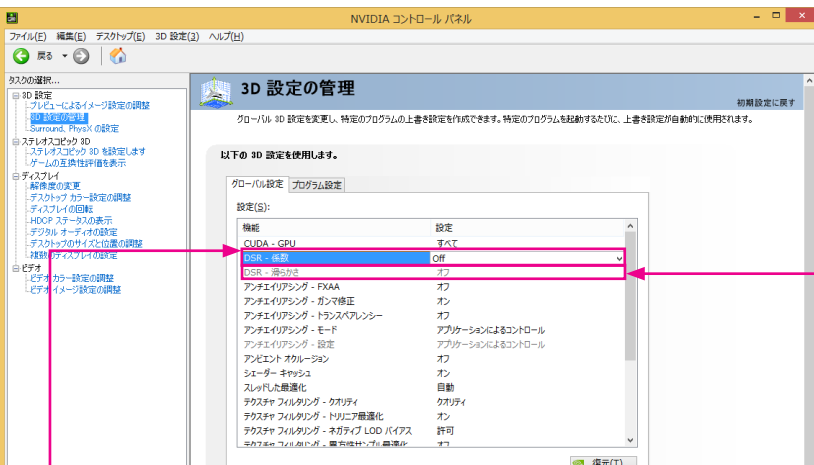
サポートされているプログラムがインストールされている場合には、そのプログラムに最適な設定が表示されます。また個別に調整・設定を行うことができます。



注意：この設定は OS、ドライババージョン、ボードなどにより変わりますのでご注意ください。

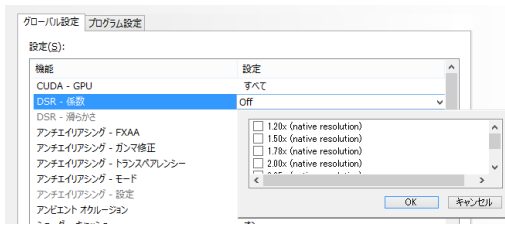
1-2-3 3D 設定の管理 / DSR(Dynamic Super Resolution)

DSR (Dynamic Super Resolution) の設定 (Geforce シリーズのみ)



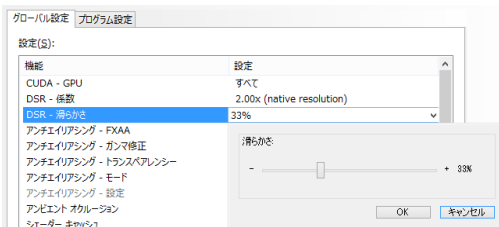
DSR- 係数

ディスプレイ解像度を何倍でレンダリングを対応させるか設定する。



DSR- 滑らかさ

ディスプレイ解像度にダウンサンプリングするにあたりフィルタ処理の滑らかさの設定



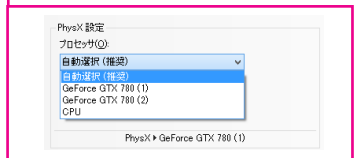
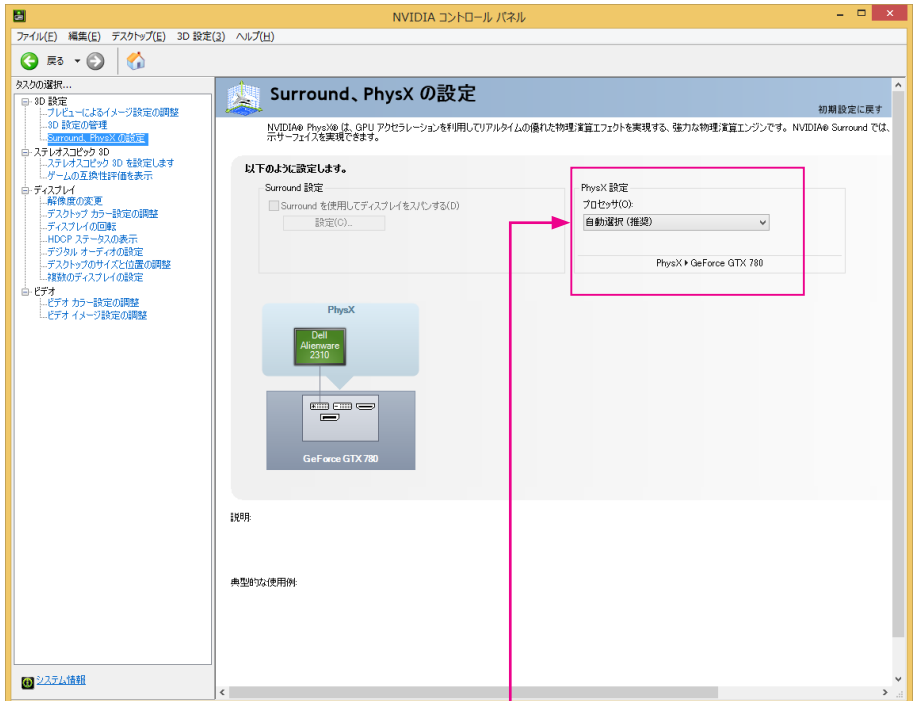
注意：

1. この設定はご使用のアプリケーションによっては問題が出る場合がありますのでご注意ください。
2. 4K ディスプレイの MST 使用時や Surround 設定が行われている時には表示されません

1-3 SLI, Surround、PhysX の設定 (GeForce シリーズ)

1-3-1 PhysX 設定

PhysX とは、GPU アクセラレーションを利用してリアルタイムに優れた物理演算エフェクトを実現する物理エンジンです。デフォルトは“自動選択”です。グラフィックスボードを複数枚搭載されている場合には、固定のグラフィックスボードを選択可能です。また、CPU に設定することも可能です。

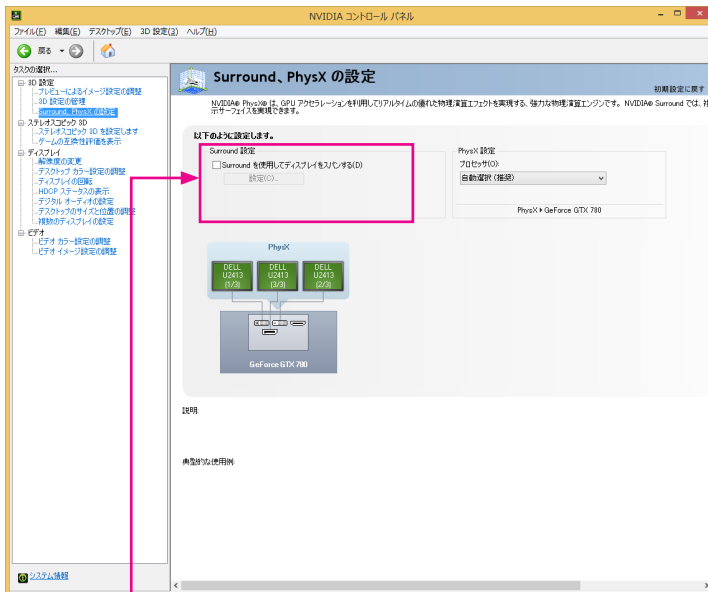


注意：

1. グラフィックスボード 1 枚でご使用の場合は、PhysX 構成のみの設定しか出来ません。
2. Quadro シリーズでのご使用の場合は別途 PhysX ドライバのインストールが必要となります。NVIDIA サイトより NVIDIA PhysX システムソフトウェアをダウンロードしインストールしてください。

1-3-2 Surround 設定

対象機種：GeForce GTX750 シリーズ以降の製品モデル
(2015年8月現在)



Surround を使用してディスプレイをスパンする

ディスプレイを 3 台を利用し、Surround 設定にて 3 画面分を 1 画面として使用出来ます。
ディスプレイコネクタを 4 つ以上搭載したモデルでは、情報表示用の 1 画面を追加して
3 画面 (Surround) + 1 画面での表示が可能となります。



注意：

1. 上記設定は、GeForce GTX750 以上の製品モデルで且つ、単体 (1 枚のみ装着した状態) の設定項目になります。
2. ゲームやアプリケーションが NVIDIA Surround に対応しているか事前にご確認ください。

* 詳しくは下記の NVIDIA サイトを参照してください。

http://www.nvidia.co.jp/object/3D_Vision_Surround_Technology_jp.html

Surround 設定

接続しているディスプレイが表示されます。(最大 4 画面までは可能)

ディスプレイ

トポロジ
1 x 3

ディスプレイ:
GeForce GTX 780
1 DELL U2418
2 DELL U2418
3 DELL U2418

3 台のディスプレイが選択されています。

解像度

解像度
5760 x 1200

リフレッシュレート
60 Hz

ベゼル補正

ベゼル
V1 0
V2 0

キーボードショートカット(D) Surroundの有効化 適用(A) キャンセル

ディスプレイ
トポロジ
サラウンドの構成
ディスプレイ
使用できるディスプレイ
が表示、選択可能

解像度
解像度
現在の全体解像度が表示
リフレッシュレート
使用できるディスプレイの
リフレッシュレートが表示

ベゼル補正
ディスプレイ間の補正

各項目を決めた後に" Surroundの有効" ボタンをクリックして決定させます。

画面表示を確認したあとはこのウィンドウを閉じてください。



注意：ベゼル補正ではオーバーラップのみで明るさの調整はいたしません。

ディスプレイ

トポロジ

サラウンドの構成

ディスプレイ

トポロジ:

- 1 × 3
- 1 × 2
- 1 × 3
- 2 × 1
- 3 × 1

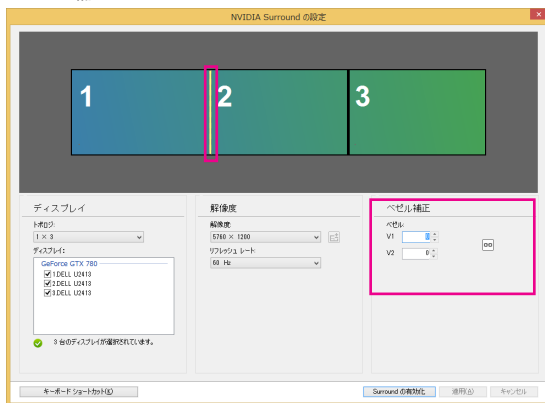
1 DELL U2413

2 DELL U2413

3 DELL U2413

3 台のディスプレイが選択されています。

ベゼル補正



Surround の設定を無効化にする場合

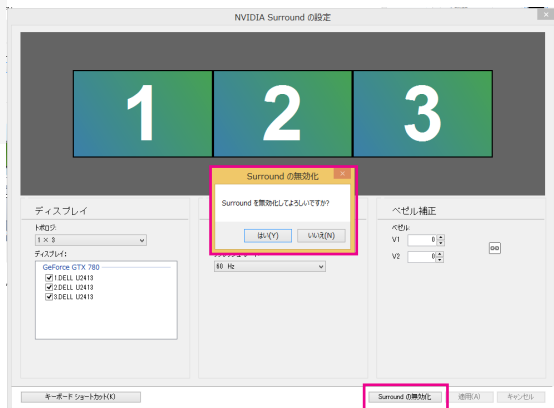
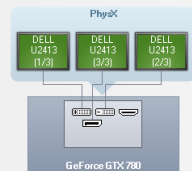
" Surround の設定 " の " 設定 " をクリックし " Surround の無効化 " をクリックして無効にしてください

以下のように設定します。

Surround 設定

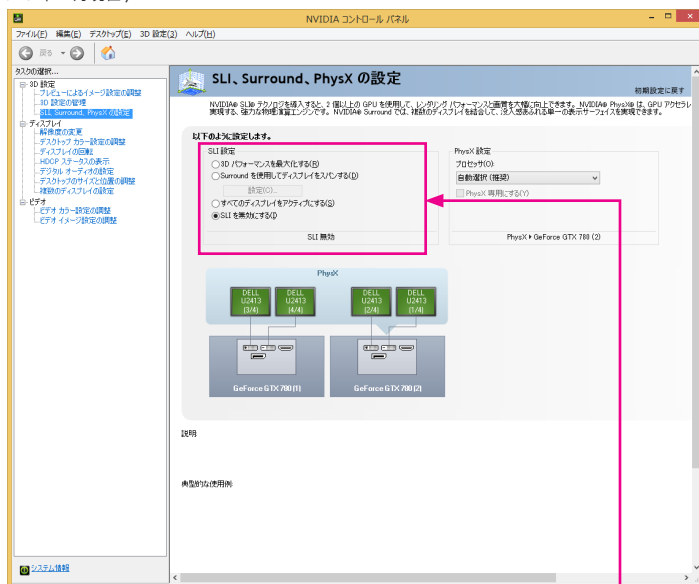
Surround を使用してディスプレイを片にする(D)

設定(O)...



1-3-3 SLI 設定

対象機種：GeForce GT640 以上の 600 シリーズまたは GTX700 シリーズ以降の SLI 可能な製品モデル
(2015 年 4 月現在)



3D パフォーマンスを最大化する

SLI の設定にて FSAА(full-scene anti-aliasing) などの最大値を非 SLI 時より大きな値に設定が可能になります。

Surround を使用してディスプレイをスパンする

GeForce SLI に対応した 2 枚のボードにより 3 から 4 画面を利用し、Surround 画面を構成し 1 画面として使用出来ます。

すべてのディスプレイをアクティブにする

接続されているディスプレイをすべて有効にする。

SLI を無効にする

SLI が有効になっているときに選択すると SLI を無効になります。



注意：

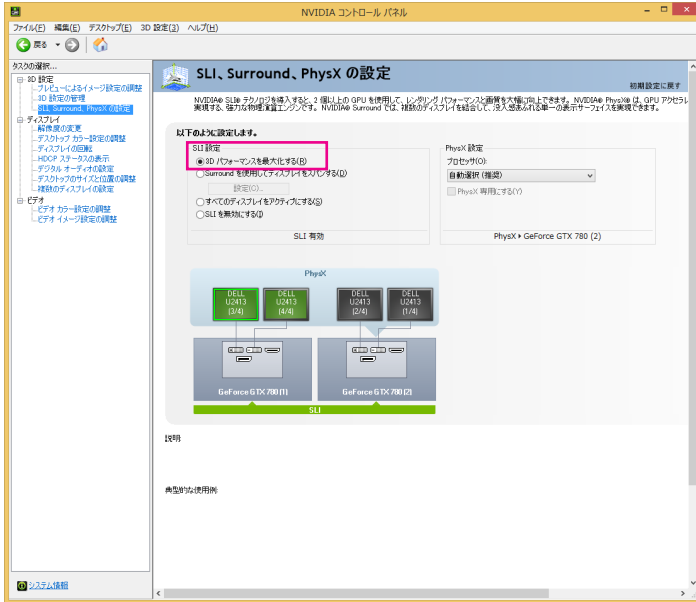
1. GeForce SLI に対応した、マザーボードまたはシステム、グラフィックスボードと SLI コネクタが別途必要です。
2. ゲームやアプリケーションが NVIDIA Surround に対応しているか事前にご確認ください。

* 詳しくは下記の NVIDIA サイトを参照してください。

http://www.nvidia.co.jp/object/3D_Vision_Surround_Technology_jp.html

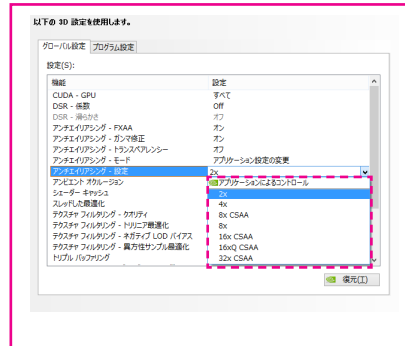
Quadro SLI と GeForce SLI は違いますのでご注意ください

SLI で 3D パフォーマンスを最大に設定した場合

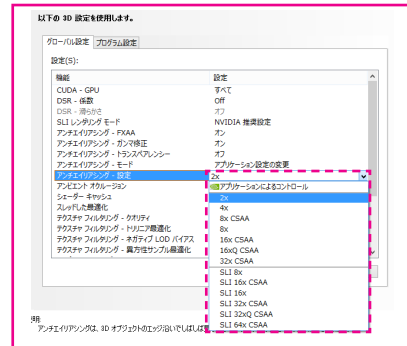


” 3D 設定の管理” の ” アンチエイリアシング - 設定” は下記ようになります。

SLI 設定前



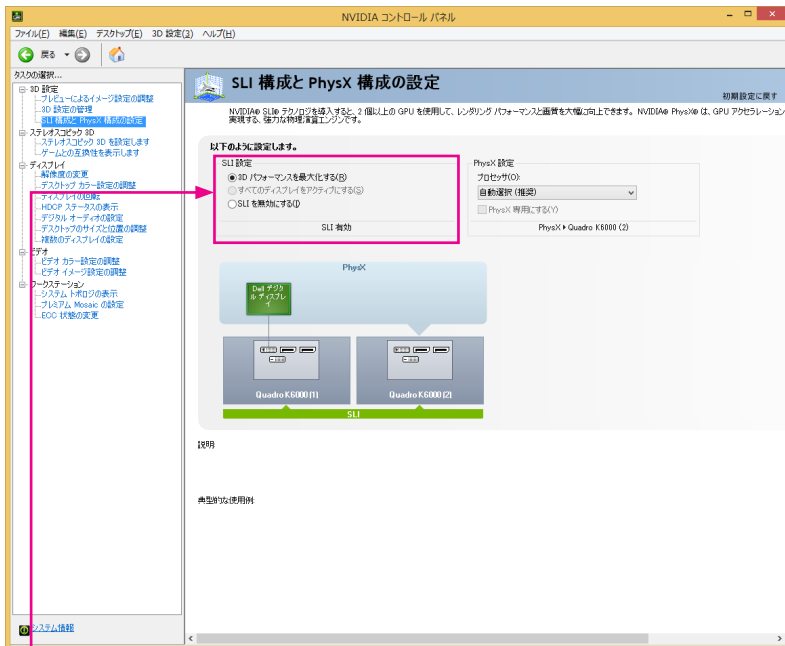
SLI 設定後



1-4 SLI 構成と PhysX 構成の設定 (Quadro シリーズ)

1-4-1 SLI 設定

Quadro SLI 対応のワークステーションで 2 枚の SLI 対応ボードを使用した時の設定方法です。



3D パフォーマンスを最大化する

SLI の設定にて FSAA(full-scene anti-aliasing) などの最大値を非 SLI 時より大きな値に設定が可能になります。

すべてのディスプレイをアクティブにする

接続されているディスプレイをすべて有効にする。

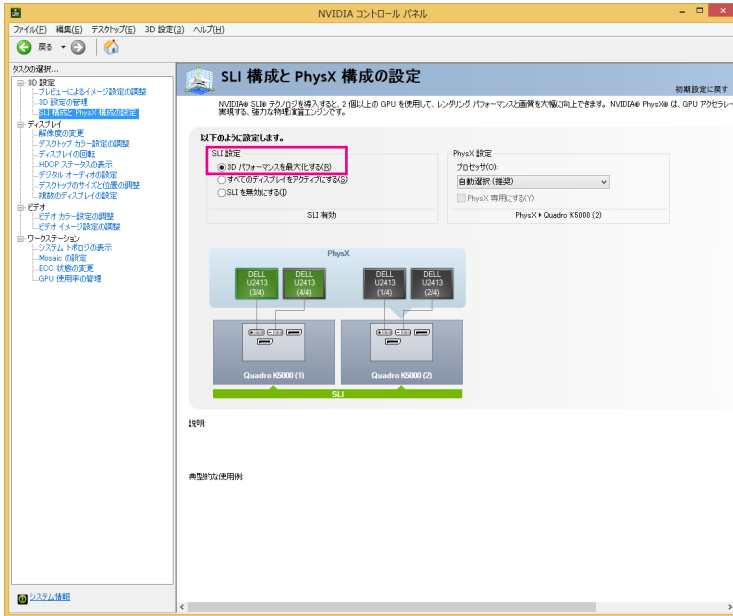
SLI を無効にする

SLI が有効になっているときに選択すると SLI を無効になります。



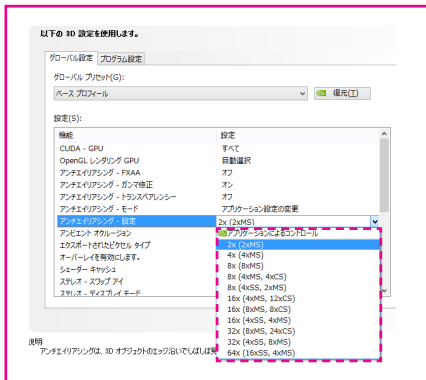
注意：Quadro SLI に対応したワークステーション、グラフィックスボードと SLI コネクタが必要です。
* 詳しくは下記の NVIDIA サイトよりワークステーションの Quadro SLI 互換システムを参照してください。
http://www.nvidia.co.jp/object/quadro_sli_compatible_systems_jp.html
Quadro SLI と GeForce SLI は違いますのでご注意ください

SLI で 3D パフォーマンスを最大に設定した場合

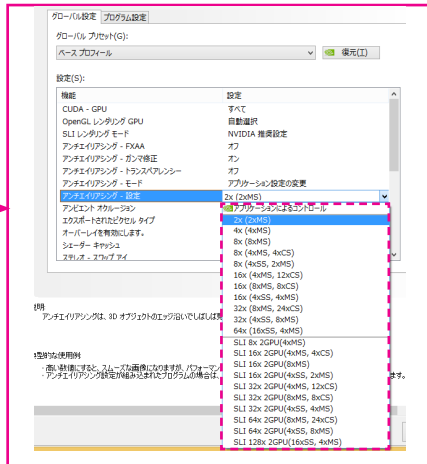


"3D Settings Management" of "Anti-Aliasing - Settings" is as follows.

SLI 設定前



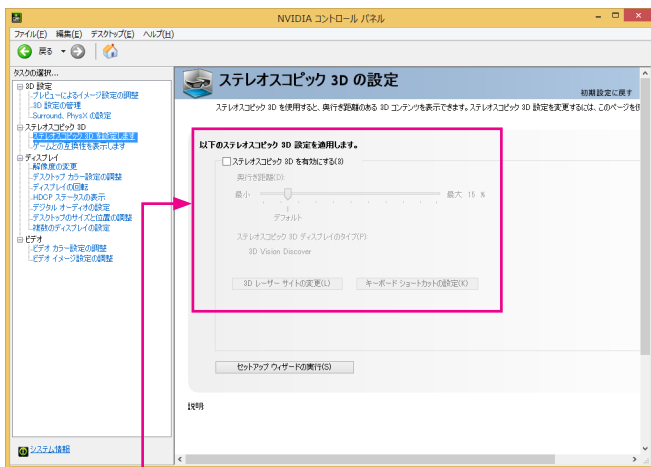
SLI 設定後



1-5 ステレオスコピック 3D 設定

1-5-1 ステレオスコピック 3D の設定 (DirectX アプリケーションで使用する場合)

3D Vision シリーズを使用する場合のみ以下の表示と設定が行えます。



ステレオスコピック 3D を有効にする

初期設定時には 3DVision のセットアップウィザードが立ち上がり、セットアップ 手順に従いセットアップを行ってください。(ディスプレイなどを変更した場合も同様です)すでに設定されている場合にはクリックすると使用可能になります。

3D レーザーサイトの変更

FPS ゲームなどで利用されている焦点をレーザーサイトで表示および設定します。

キーボードショートカットの設定

3D 機能を動作させるキーボードをショートカットとして設定します。

ゲームが起動したらステレオスコピック 3D 効果を非表示にする

対応ゲームが起動した場合にステレオスコピック 3D を動作させたくない場合にクリックしてください。

ゲームとの互換性を表示します

3D Vision とゲームの対応の確認が出来ます。



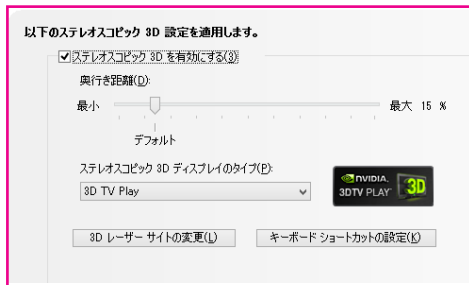
注意：

1. 動作させるためには、NVIDIA 3D Vision シリーズと 3D Vision 対応ディスプレイなどが必要になります。
2. 3D Vision ドライバは 270 番台以降のグラフィックスドライバ (WHQL 版)には含まれております。
* 詳しくは下記の NVIDIA サイトを参照してください。
<http://www.nvidia.co.jp/object/3d-vision-main-jp.html>

Blu-ray 3D を使用するには、

1. はじめに NVIDIA で動作確認が取れている 3D 対応テレビ、プロジェクターやシステム要件などを下記の NVIDIA サイトよりご確認ください。
<http://www.nvidia.co.jp/object/3dtv-play-requirements-jp.html>
2. Windows 7 以降の OS を使用
3. NVIDIA 3DTV Play(アプリケーションソフト) もしくは 3D Vision シリーズの HUB とドライバが必要です。
詳しくは下記、NVIDIA サイトよりご確認ください。
<http://www.nvidia.co.jp/object/3dtv-play-jp.html>
4. PC 向けの Blu-ray 3D 対応の再生アプリケーションと対応 Blu-ray ドライブが必要です。

*アクティブシャッター (フレームシーケンシャル) 方式の 3D テレビに接続した場合の例



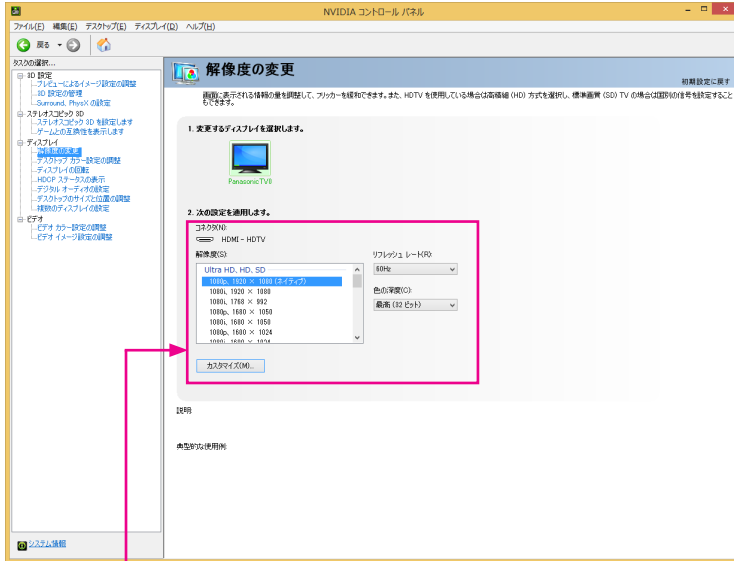
注意：



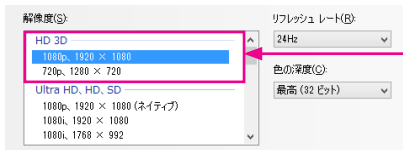
1. Blu-ray 3D は Quadro シリーズではサポートされていません。
2. 3D メガネはテレビ付属のものを使用してください。
3. あらかじめ、テレビやプロジェクター側の 3D 設定の確認と設定を行ってください。
4. PC 向け Blu-ray 3D 対応アプリケーションについては、各アプリケーションメーカーへお問い合わせください。
5. HDMI 1.4 対応のテレビを接続した場合のみ、ステレオスコピックの設定にて 3D が使用出来ます。
6. Blu-ray 3D をサポートしているアプリケーションのみ使用出来ます。
7. Blu-ray ドライブは別途ご用意ください。
8. ご使用のテレビにより 3D 方式や設定などが違う場合がありますのでご注意ください。

HDTV を使用している場合は、解像度の変更項目に HD 方式に 3D TV 設定が可能になります。

アクティブシャッター方式（フレームシーケンシャル方式）の場合



3D TV 対応環境で、ステレオスコピックス 3D を選択した場合



3D TV 対応環境で、ステレオスコピックス 3D を設定した場合には“HD 3D”が追加されます。



注意：

必要なものは 3D Vision HUB またはライセンスと TV などの付属のメガネ

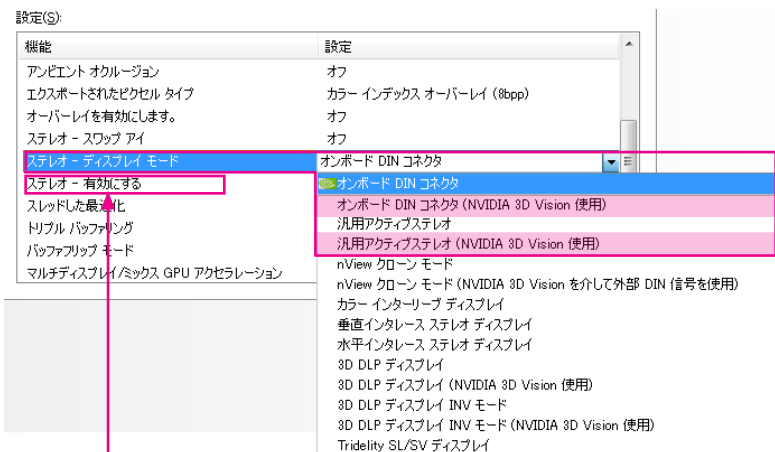
1. 各メーカーのテレビ、3D 方式やドライバのバージョンなどにより表記が変わる場合があります。

2. テレビ以外の接続に関しては、上記の表示や動作が異なる場合があります。

3. アクティブシャッター方式はフレームシーケンシャル方式と記述されている場合がありますのでお使いの TV などのマニュアルをご参照ください。

1-5-2 3D Vision シリーズを OpenGL で使用する場合 OpenGL (Quad Buffered Stereo) にて使用する場合の設定

NVIDIA コントロールパネルの“3D の設定”より設定をします。



ステレオ - ディスプレイモード

3D Vision シリーズと対応 Quadro シリーズとの接続設定します。

オンボード DIN ステレオ (NVIDIA 3D Vision 使用)

対応 Quadro シリーズの VESA 3pin DIN コネクタを利用する場合に選択します。

汎用アクティブステレオ (NVIDIA 3D Vision 使用)

USB のみで利用する場合に選択します。

ステレオ - 有効にする

3D Vision シリーズと対応 LCD ディスプレイを使用する場合は、“ステレオ - 有効にする”を“オン”へ変更してください。



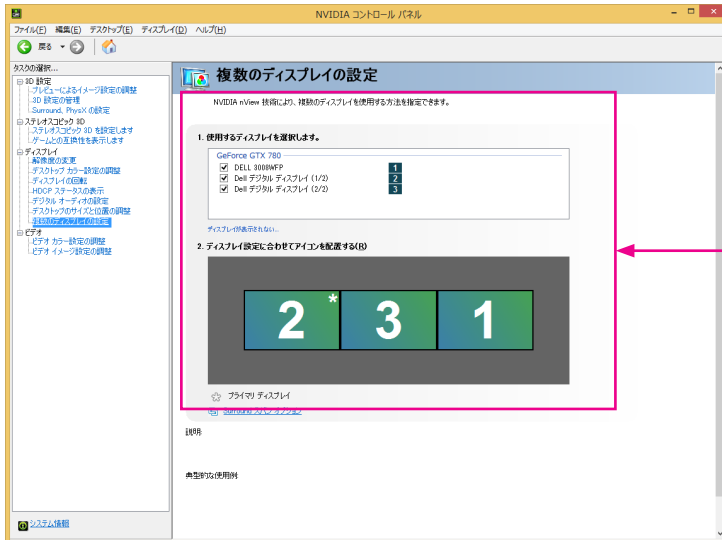
注意：

1. DirectX 設定と混在して使用することは出来ません。
2. 動作させるには NVIDIA 3D Vision シリーズと対応ディスプレイなどが必要になります。
3. オンボード DIN 端子を使用時には対応の Quadro シリーズのグラフィックスボードが必要になります。
4. 3D の実行などの設定はアプリケーション側にて行ってください。
* 詳しくは下記の NVIDIA 3D Vision サイトや 3D Vision Pro のユーザーガイドを参照してください。
<http://www.nvidia.co.jp/object/3d-vision-main-jp.html>
http://www.nvidia.com/object/quadro_fx_product_literature.html (英語)

1-6 複数のディスプレイの設定

クローンの設定について

Geforce と Quadro では出来る設定が違います。



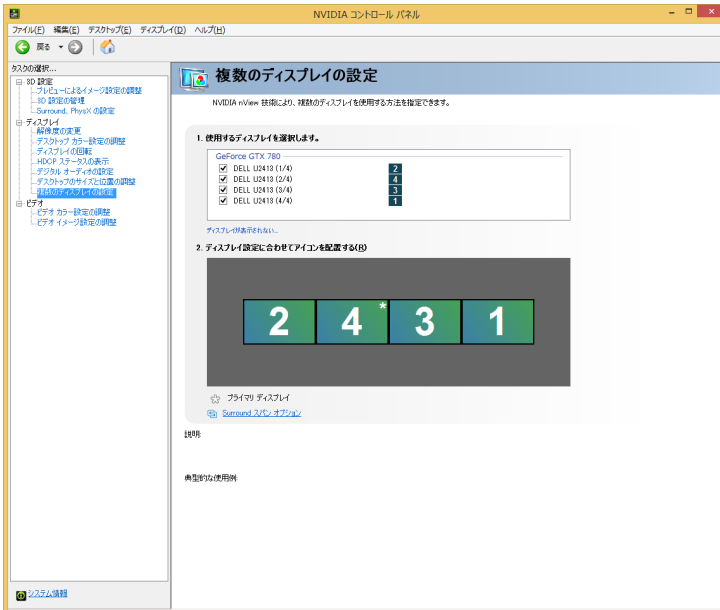
使用するディスプレイを設定します
使用するディスプレイにチェックを入れて表示させます。
(Windows 側のディスプレイ表示の変更と同じ機能です)

ディスプレイに合わせてアイコンを配置する
設置している配置にあわせる

注意：
1. ディスプレイのリフレッシュレートは同じものをご使用ください。違っていると出来ないことがあります。
2. グラフィックスボードをまたいでのクローン表示は出来ません
3. Windows OS が認識出来るディスプレイは 16 台までは確認済みです。

クローン (GeForce シリーズ)

同じ解像度でのクローン画面になります。



"ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する"のクローンしたいメイン側のディスプレイにカーソルを持っていき、マウスの右クリックを押し"クローンに使用"を選択してください。各1ディスプレイごとに設定していきましょう。

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)



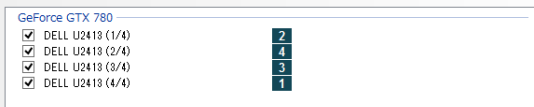
2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)



2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)



1. 使用するディスプレイを選択します。



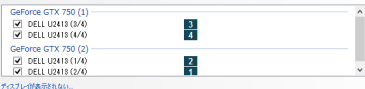
ディスプレイが表示されなし...

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)



2枚のグラフィックスボードでのクローン設定は下記のようになります。
それぞれのグラフィックス内でのクローンとなります。

1. 使用するディスプレイを選択します。



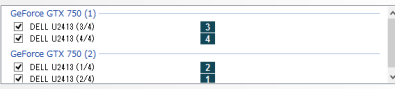
ディスプレイが表示されなし...

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)



11000

1. 使用するディスプレイを選択します。



ディスプレイが表示されなし...

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)



プライマリ ディスプレイ

"ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する"のクローンになっているディスプレイにカーソルを持っていき、マウスの右クリックを押し、"クローン元"を選択するとクローン元のディスプレイを変更出来ます。

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)

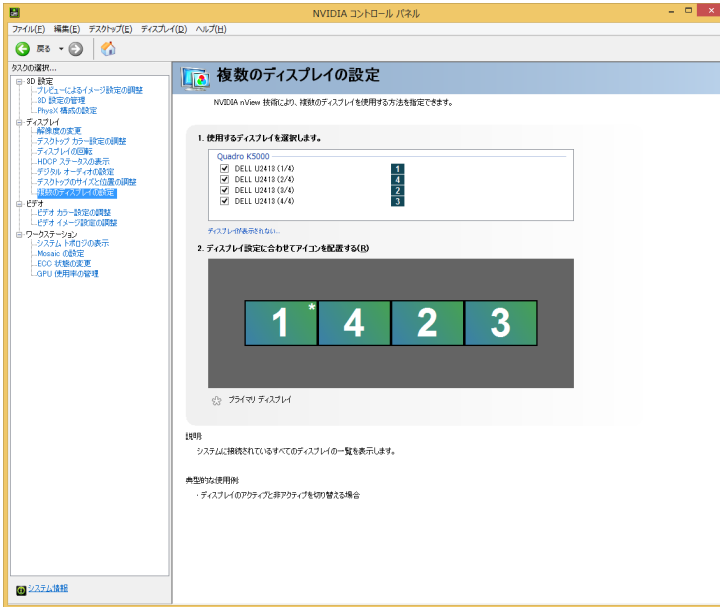


- 注意：
- 1. 使用できる解像度は同じ解像度のみです。違う解像度の場合には、低い解像度側に設定をされます。
 - 2. リフレッシュレートに関しては、"解像度の変更"での各ディスプレイの設定に依存します。クローン設定する前に確認しておいてください。(違うリフレッシュレートでは出来ないことがあります。)
 - 3. 1枚のグラフィックスボード内でのクローン設定は出来ませんが、複数のグラフィックスボードでのボード間のクローンは出来ません
 - 4. 4k ディスプレイで MST モデルを使用時には最新ドライバ (353.62 以降) をご使用ください。

クローン (Quadro シリーズ)

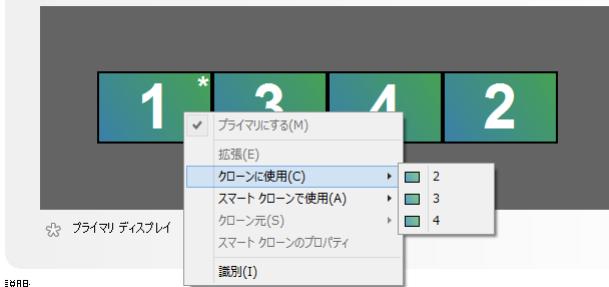
同じ解像度でのクローン画面になります。

"ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する"のクローンしたいメイン側のディスプレイにカーソルを持っていき、マウスの右クリックを押し"クローンに使用"を選択してください。



"ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する"のクローンしたいメイン側のディスプレイにカーソルを持っていき、マウスの右クリックを押し"クローンに使用"を選択してください。各1ディスプレイごとに設定して行ってください。

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置します。



説明:

注意:



1. 使用できる解像度は同じ解像度のみです。違う解像度の場合には、低い解像度側に設定をされます。
2. リフレッシュレートに関しては、"解像度の変更"での各ディスプレイの設定に依存します。クローン設定する前に確認しておいてください。(違うリフレッシュレートでは出来ないことがあります。)
3. 1枚のグラフィックスボード内でのクローン設定は出来ませんが、複数のグラフィックスボードでのボード間のクローンは出来ません

1 枚のグラフィックスボードでのクローン設定は下記のようになります。

1. 使用するディスプレイを選択します。

Quadro K5000

<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (1/4)	1
<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (2/4)	4
<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (3/4)	2
<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (4/4)	3

ディスプレイが表示されない...

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)

2 枚のグラフィックスボードでのクローン設定は下記のようになります。それぞれのグラフィックス内でのクローンとなります。

1. 使用するディスプレイを選択します。

Quadro K2000 (1)

<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (3/4)	3
<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (4/4)	4

Quadro K2000 (2)

<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (1/4)	2
<input checked="" type="checkbox"/> DELL U2418 (2/4)	1

ディスプレイが表示されない...

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する(B)

☆ プライマリ ディスプレイ

"ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置する"のクローンになっているディスプレイにカーソルを持っていき、マウスの右クリックを押し"クローン元"を選択するとクローン元のディスプレイを変更出来ます。

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置します。

説明
アイコンをドラッグして、ディスプレイに表示する位置、アイコンを右クリックします。

スマートクローン (Quadroシリーズのみ)

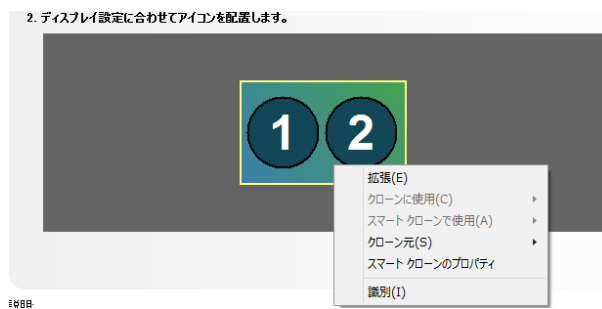
異なる解像度同士でのクローン設定が出来ます。

高解像度側のクローンを選択すると低い解像度側は高解像度の部分的に表示されている状態になります。



"スマート クローンのプロパティ" にてクローンの詳細な設定が出来ます。

*クローンを解除する場合には "拡張" を選択してください。



注意：

1. Quadro 410/ 600 / K600 以降の製品または NVS310 以降の NVS 製品では Windows 7 以降の OS で使用できます。
2. 全てのディスプレイと解像度で可能ではありません。(ドライバのバージョンにより変更されます)

ピクセル パーフェクト クローンの設定 (Quadro シリーズのみ)

低い解像度側にどちらも解像度が設定されます。

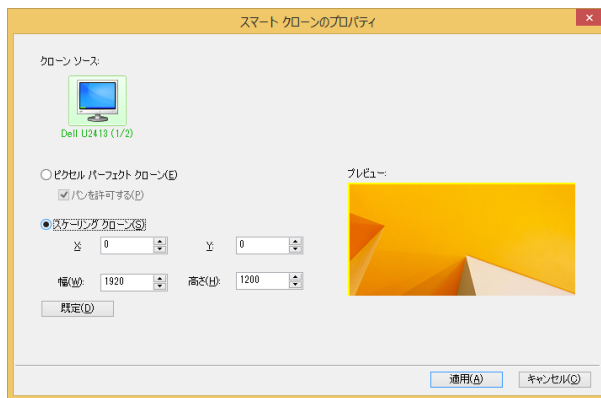
"パンを許可する" にチェックがついている場合には高い解像度の一部が表示されています。



スケーリング クローンの設定 (Quadro シリーズのみ)

解像度の部分的な解像度のみを表示させる。

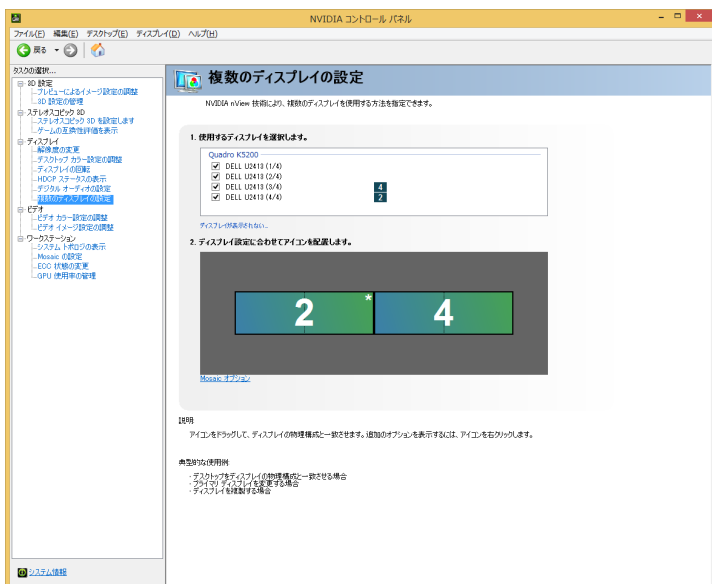
表示されている解像度は現状の解像度が表示されています。



注意：・使用できる解像度は同じ解像度のみです。違う解像度の場合には、低い解像度側に設定をされます。
・リフレッシュレートに関しては、「解像度の変更」での各ディスプレイの設定に依存します。クローン設定する前に確認しておいてください。

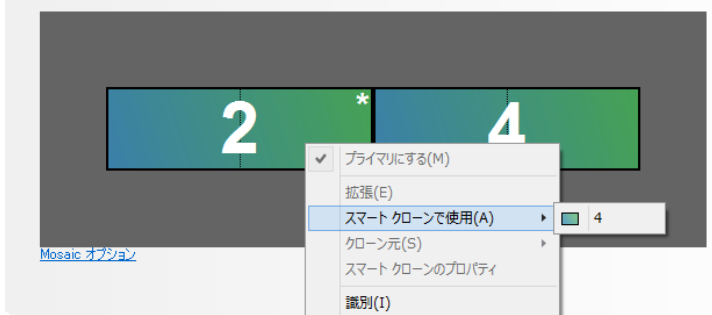
4K(MST) やディジーチェーン接続のクローン設定 スマートクローン (Quadro シリーズのみ)

ディジーチェーンまたは 4K(MST) の同設定の 2 台を接続されているディスプレイを使用しているクローン設定です。



クローンは、"スマート クローンの使用" のみのクローン設定になります。

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置します。



クローン設定になると下記の画面設定になります。

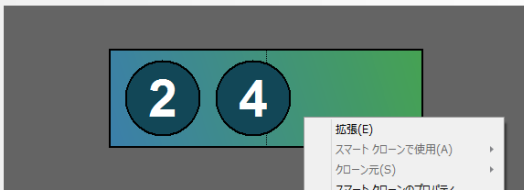
2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置します。



[Mosaic オプション](#)

スマートクローンのプロパティや拡張につきましては他のページと同様の設定になります。

2. ディスプレイ設定に合わせてアイコンを配置します。



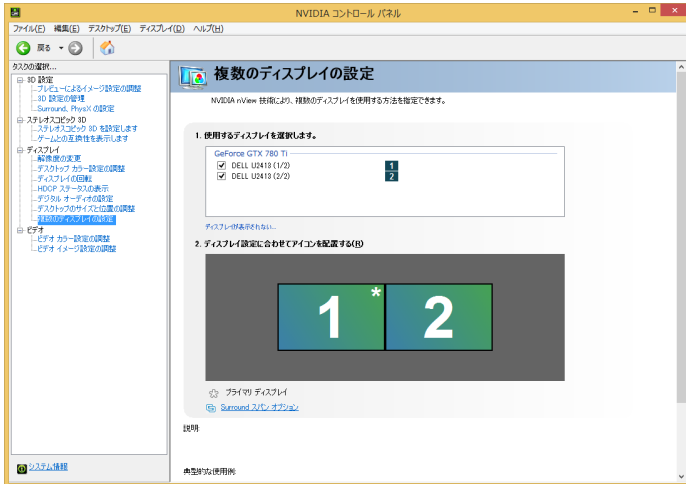
[Mosaic オプション](#)

1-7 ディスプレイポート / マルチストリームトランスポート

ディスプレイポートのマルチストリームトランスポート (MST) については 2 種類あります。

1. ディスプレイ間をケーブルで接続しデジチェーンで接続するタイプ

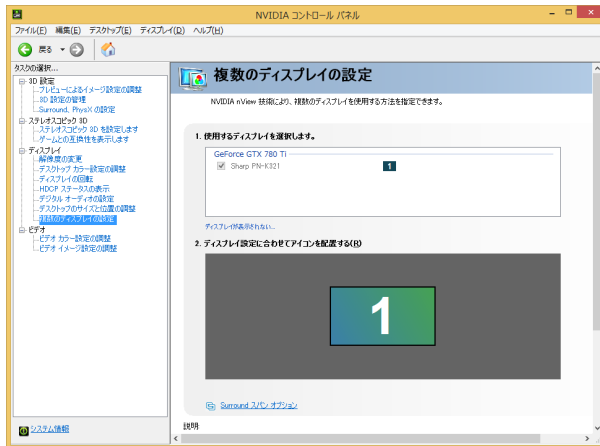
例 : GeForce GTX780、Quadro K6000 と DELL U2413(2 台) を接続した場合



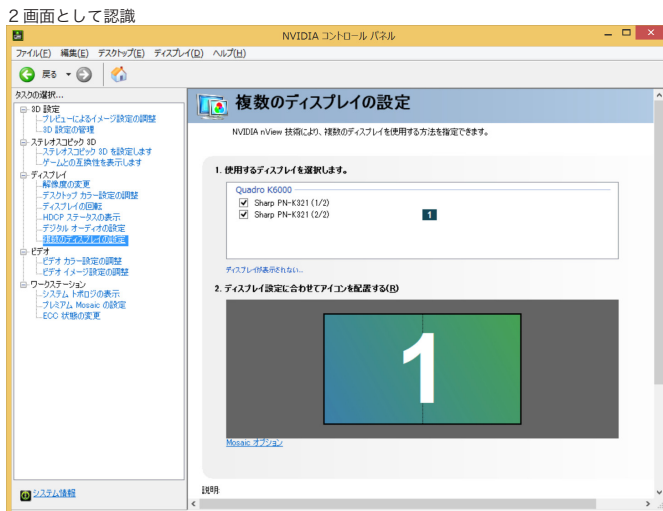
2. ディスプレイ内ですでに接続されているタイプ

例 : GeForce GTX 780 と SHARP PN-K321(1 台) を接続した場合

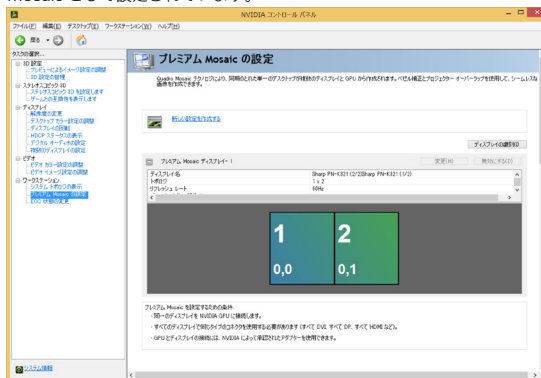
1 画面のみと認識



例：Quadro K6000 と SHARP PN-K321(1 台) を接続した場合



2画面がMosaicとして設定されています。



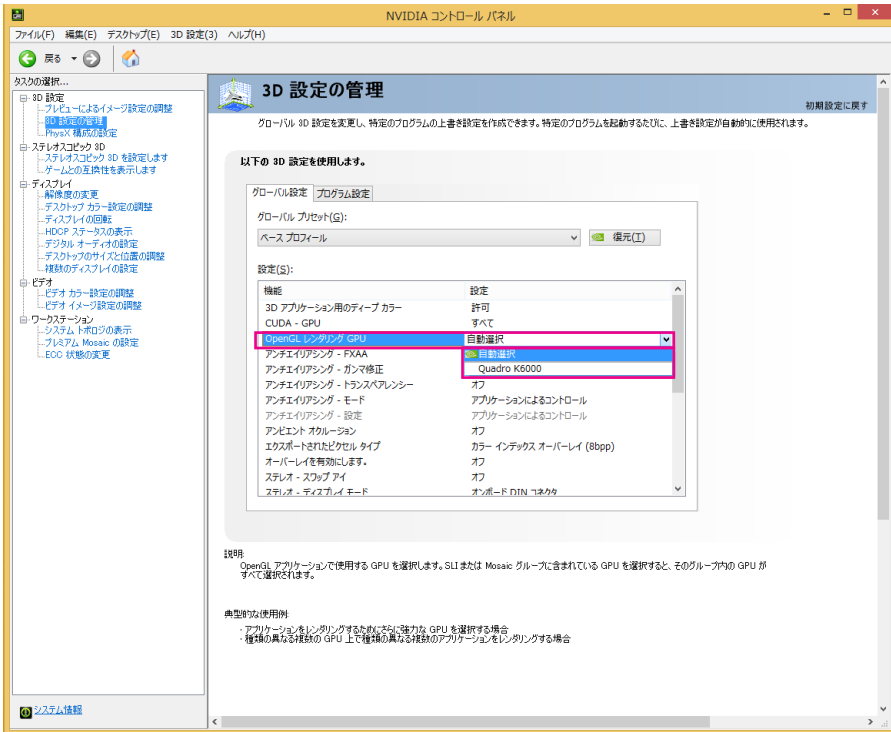
注意：

1. DisplayPort 1.2 以降のポートを搭載している一部の GeForce、Quadro K シリーズグラフィックスボードが必要です。
2. グラフィックスボードのディスプレイポートとディスプレイのディスプレイポート入力がマルチストリームをサポートや設定を確認してから接続してください。
3. DisplayPort 1.2 をサポートしているケーブルを必ずご使用ください。
4. 複数台での 4K ディスプレイをサポートしているわけではありませんのでご了承ください。
5. MST ディスプレイは 2 台のディスプレイが接続されているのと同じ事になりますので最大サポートディスプレイをご確認ください

1-8 ダイレクト GPU レンダリング

“OpenGL レンダリング GPU” は、レンダリングのみを実行させたい GPU を指定することが出来ます。(デフォルトの設定は自動選択になっています)

1. “グローバル設定” の場合には、グローバルプリセットをベースプロファイルにして設定してください。
2. “プログラム設定” の場合には、認識されている各プログラムにて設定をしてください。その際、グローバル設定側は自動選択もしくは設定出来なくなります。



注意：

1. GeForce シリーズ (GLADIAC シリーズ / AXERIZE シリーズ含む) はサポートされていません。
2. OpenGL アプリケーションが対象ですが、特定の OpenGL アプリケーションにつきましては、サポートしていない場合があります。
3. グラフィックスボードを複数枚使用している場合は、2 枚以上の GPU のうち適用したい 1 GPU に固定されます。(デフォルトは自動認識) また、同じ製品を複数枚使用している場合には、OS からの認識順になりますのでご注意ください。

1-9 Mosaic の設定 (Quadro シリーズのみ)

- ・ Mosaic のサポートボード
Quadro NVS290 以降のシリーズ、NVS シリーズ、Quadro400 以降のシリーズ、Quadro FX380 以降の Quadro シリーズ、Quadro K シリーズ、Quadro M シリーズ、Quadro Plex D2、Plex 7000
2015 年 9 月現在

- ・ 最大解像度 (総合計)
最大 16,384 x 16,384pixels
Quadro 600 から 6000、K600 から K6000、Quadro M4000 から M6000、Quadro Plex7000 を含む製品

最大 8,192 x 8,192pixel
Quadro NVS シリーズ、NVS シリーズ、Quadro FX380LP から FX5800、Quadro Plex D2 などの旧製品を含む

注意：Windows7 では最大まで表示させますと Aero 表示されないことがあります。
(Aero は解像度の縦または横の総合計が 7700 を超えると表示されなくなります)

- ・ 主な画面構成
 - 2 画面
Mosaic をサポートしているすべての Quadro/NVS シリーズ ボード
 - 4 画面
1GPU = Quadro K5000、K5200、K6000、M4000 から M6000
2GPU (または Quadro SLI) = Quadro 5000、K6000、M4000 から M6000
Quadro Plex D2、Plex 7000 を 1 台で使用時
 - 8 画面
2GPU(Quadro SLI または +Sync ボード) = Quadro K5000、K6000、M4000 から M6000
4GPU = Mosaic サポートしている Quadro ボード
Quadro Plex 2200 D2、7000 =2 台 (別途 Dual output HIC のホストカードが必要)
 - 12 画面
3GPU(+Sync ボード) = Quadro K4200、K5000、K5200、K6000、M4000 から M6000
 - 16 画面
4GPU(+Sync ボード) = Quadro K4200、K5000、K5200、K6000、M4000 から M6000

- ・ Mosaic 設定するための推奨条件：
 1. すべてのディスプレイは同型、同解像度を使用
 2. すべて同じコネクタを使用し接続 (すべて DVI-D、すべて DisplayPort、すべて HDMI)
 3. 1 台のディスプレイの最低解像度は 800x600 です

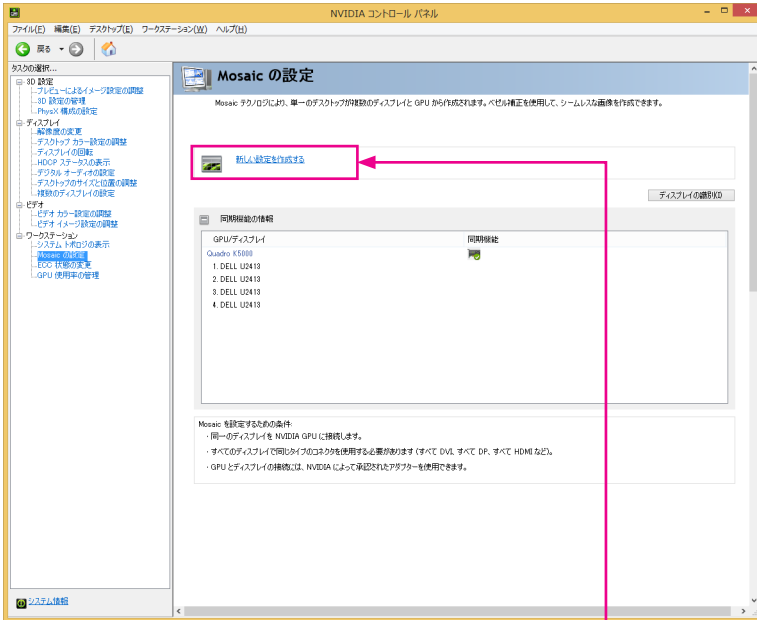


注意：

1. GeForce シリーズ (GLADIAC シリーズ / AXERIZE シリーズ含む) はサポートされていません。
2. 種類、メーカーの違うモニターで Mosaic を構築しての解除は出来なくなります。その場合ドライバの削除を実行し再度ドライバを入れ直してください。
3. DisplayPort からの変換 dongle やケーブルでの動作、同期の保証はできません。
4. Mosaic を SLI 設定でご利用になる際は、Quadro SLI に対応したワークステーション、グラフィックスボードと SLI コネクタが必要です。* 詳しくは下記の NVIDIA サイトを参照してください。
http://www.nvidia.co.jp/object/quadro_sli_compatible_systems_jp.html
5. 1 画面のみでは設定できません。必ず 2 画面以上の接続を確認の上設定を行ってください。
6. Quadro SLI のみでのボード間またはディスプレイ間のディスプレイの同期は出来ません。
7. 2 枚以上の複数ボードのみでの多画面ディスプレイの同期は出来ません。
8. ディスプレイの同期を多画面を複数ボードで行うには Quadro Sync と対応ボードが必要となります。

Mosaic の設定

複数のディスプレイを 1 画面として扱うことができます。



新しい設定を作成する

新規に Mosaic のディスプレイの構成と設定を行います。



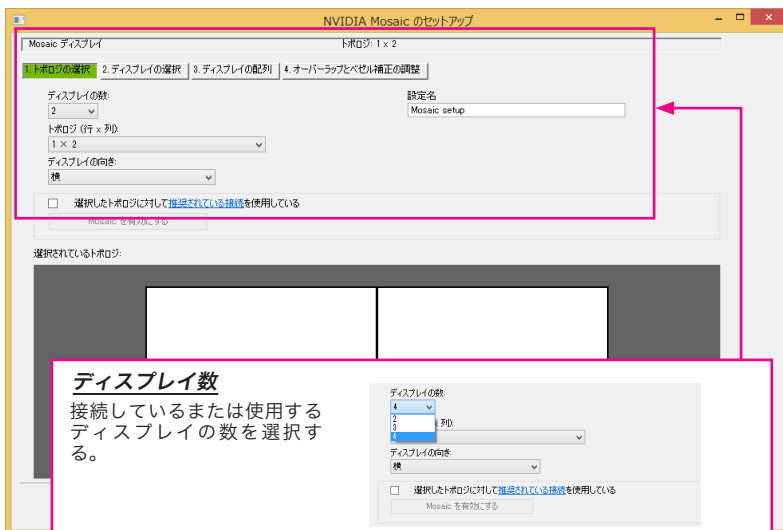
詳しくは下記の NVIDIA サイトの User Guides

Mosaic and Premium Mosaic User, Guide Mosaic Control Display Guide,

Mosaic Recommended Display Connections Guide を参照してください。

http://www.nvidia.com/object/quadro_fx_product_literature.html (英語)

Mosaic 設定 手順



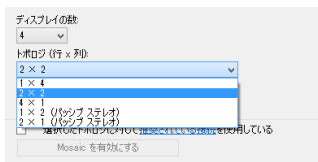
ディスプレイ数

接続しているまたは使用するディスプレイの数を選擇する。



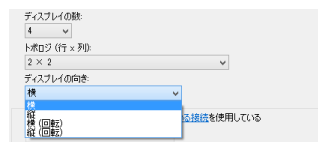
トポロジ (行 x 列)

1x2/2x1 など並べたい行列を選擇する。



ディスプレイの向き

横、縦、横 (回転)、縦 (回転)



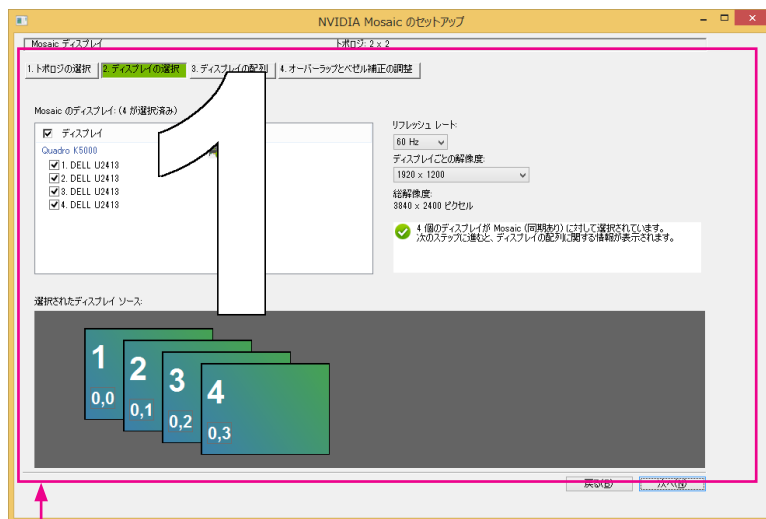
選擇されたトポロジに対して推奨されている接続を使用している

推奨されている接続ならばチェックボックスにチェックを入れます。
"次へ" ボタンにて "ディスプレイの選擇" へ進みます。

設定名

設定に名前をつけて保存することが出来ます

<ディスプレイの選択>



Mosaic のディスプレイ

接続しているディスプレイが表示されているので使用するディスプレイにチェックをする。

リフレッシュレート

使用するリフレッシュレートを選擇する。

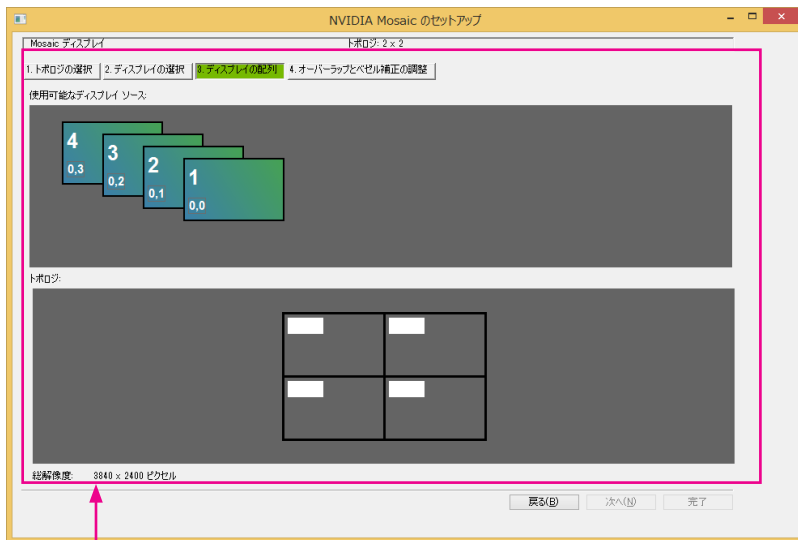
ディスプレイごとの解像度

1 個のディスプレイの解像度を選択する。

総解像度

Mosaic にしたときのディスプレイの総解像度が表示される。

<ディスプレイの配列>



使用可能なディスプレイソース

この画面の中から選択して"トポロジ"へ配置する
配置すると"適用"ボタンが現れますので適用する場合には押して完了となります。

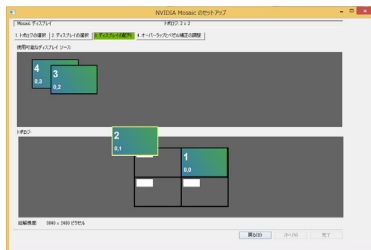
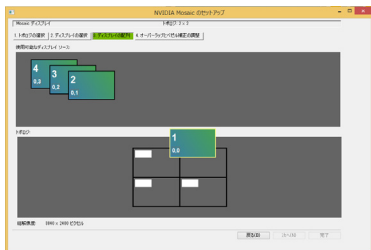
トポロジ

使用するでディスプレイの配置、順番を選択できる。

総解像度

Mosaic にしたときのディスプレイの総解像度が表示される。

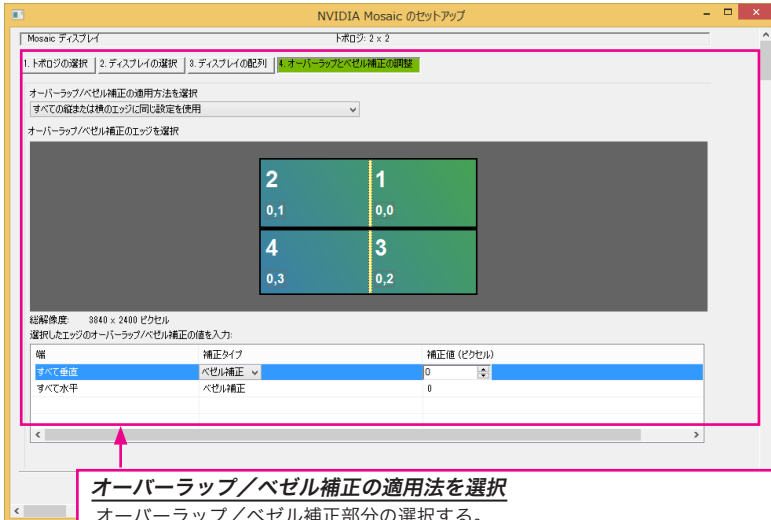
・ディスプレイに表示している"0,1"などとの表示されている場所と同じ位置に上側のところよりマウスでドラッグアンドドロップにて配置していきます。
 もちろん任意の場所でもかまいません。



<設定完了>



<オーバーラップとベゼル補正の調整>



オーバーラップ/ベゼル補正の適用法を選択

オーバーラップ/ベゼル補正部分の選択する。

選択したエッジのオーバーラップ/ベゼル補正の値を入力

補正するタイプを選択し、補正数値 (ピクセル) を入力する。

選択したエッジのオーバーラップ/ベゼル補正の値を入力:

端	補正タイプ	補正値 (ピクセル)
すべて垂直	ベゼル補正	0
すべて水平	オーバーラップ	0

選択したエッジのオーバーラップ/ベゼル補正の値を入力:

端	補正タイプ	補正値 (ピクセル)
すべて垂直	ベゼル補正	0
すべて水平	ベゼル補正	0



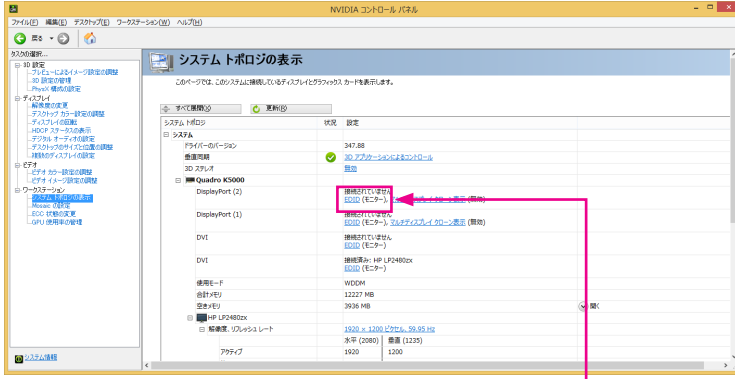
注意:

1. プロジェクターオーバーラップのみで明るさの調整はいたしません。
 2. シームレスデュアルディスプレイ、シームレスマルチディスプレイ*1
 3. シームレス 4K 解像度パネルとプロジェクター*1
 4. ステレオスコピックス 3D Mosaic*1
- *1:Quadro K5000、Quadro Plex、Quadro SLI とそのシステムのみ一度作成された Mosaic 設定に追加して作成することは出来ません。必ず一度無効にしてから再度 Mosaic 設定をしてください。

詳しくは下記の NVIDIA サイトの User Guides の Mosaic and Premium Mosaic User、Guide Mosaic Control Display Guide、Mosaic Recommended Display Connections Guide を参照してください。
http://www.nvidia.com/object/quadro_fx_product_literature.html (英語)

1-10 EDID 情報固定設定 (Quadro シリーズのみ)

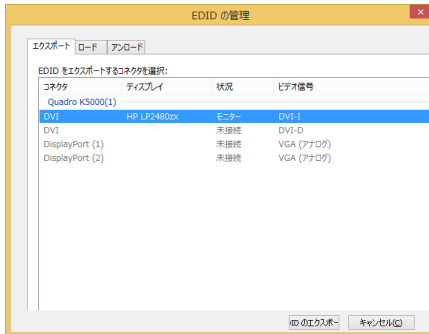
ディスプレイの EDID 情報を取得、



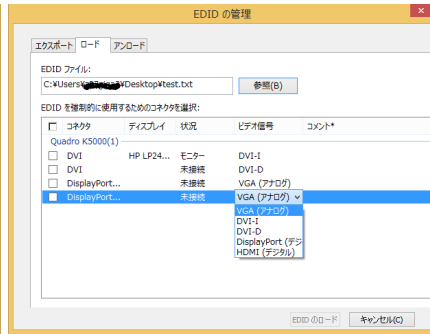
EDID

システムトポジの表示内のグラフィックスボードの各コネクタで接続されるディスプレイ情報の EDID の管理を行います。(ディスプレイに限る)

エクスポート (データ保存)



ロード (取り込み)



アンロード (取り消し)

注意：

1. ディスプレイとの間に切り替え器などがある場合にはディスプレイの EDID 取得などが出来ません。
2. 規格以上などのケーブルなどではじめに実施し固定しても画面上同期がとれない事がありますのでご注意ください。
3. EDID 固定していて出力ポートが故障した場合には画面の位置の変更などが出来なくなる場合がありますのでご注意ください。

詳しくは下記の ELSA 内の

EDID 情報固定設定簡易マニュアルを参照してください。

http://www.elsa-jp.co.jp/html/multi_display/elsa_edid_setting_manual_v1.0.pdf

エルザ ジャパン サポートセンターについて

株式会社 エルザ ジャパン
サポートセンター

〒105-0014

東京都港区芝 3 丁目 42 番 10 号 三田 UT ビル

株式会社 エルザ ジャパン
サポートセンター

TEL : 03-5765-7615

FAX : 03-5765-7235

メール : sup-jp@elsa-jp.co.jp

Web サイト : <http://www.elsa-jp.co.jp/>

営業時間 10:00 - 18:00 (土日祝祭日、当社指定休日を除く)

●製品について

弊社ホームページにて、製品情報および詳細、FAQ、動作確認情報などを掲載しております。
お問い合わせの前に一度ご確認ください。

●製品の初期不良および故障と思われる場合には、ご購入いただきました販売店様もしくは
弊社サポートセンターまでご連絡ください。

●修理品の送付について

下記のアドレスの送付手順にて送付していただきますようお願いいたします。

<http://www.elsa-jp.co.jp/support/repair/index.html>

作成 : 2014 年 x 月

Product suooprts of this manual is only Japanese language.